

(3)基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実

(網掛け) 重点施策

3-(1) 親の学びの機会の充実

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度未 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課	
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額		
1 母親学級・両親学級 (1-(1)-15の再掲)	拡充	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及、不安の解消及び仲間づくりの場を提供することを目的に、マタニティスクールとプレパパママスクールを開催した。 ・マタニティスクール 延実施回数 18回 参加人数 297人 ・プレ・パパママスクール 実施回数 10回 参加人数 292人	-	-	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及、不安の解消及び仲間づくりの場を提供することを目的に、マタニティスクールとプレパパママスクールを開催した。 ・マタニティスクール 延実施回数 18回 参加人数 297人 ・プレ・パパママスクール 実施回数 10回 参加人数 348人	-	-	A 母親学級・両親学級については、妊婦やその夫に、妊娠、出産、育児等について学習していただくことにより、積極的に出産に臨んでもらうことができた。今後の課題としては、実施日を夏休みや冬休みに設定するなど、参加しやすいよう工夫することである。	-	総合保健センター
2 育児関連講座 (2-(2)-24の再掲)	継続	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 21講座 87回 参加者延べ2,356人	-	-	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 20講座 76回 参加者延べ1,334人	-	-	B 育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供する。	-	中央公民館
3 家庭教育講座 (2-(3)-5の再掲)	拡充	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 23講座 104回 参加者延べ2,374人	-	-	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 28講座 114回 参加者延べ2,434人	-	-	A 家庭教育に関する講演会や学習会を実施する。	-	中央公民館

3-(2) 親の社会参画の機会の充実

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度未 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課	
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額		
1 「つどいの広場」	新規	7月から川越福祉センター、南古谷第二保育園、笠幡菜の花保育園(法人園)の3箇所事業を開始した。 【3箇所】	2,851	2,820	6月から新たに高階保育園、神明町保育園で事業を開始した。 【5箇所】	1,641	1,314	B 既に実施している川越福祉センターを午後も実施した。 本年度2箇所開設する予定 【10箇所】	2,189	保育課
2 家庭教育学級 (2-(3)-4の再掲)	継続	保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 ・55校PTA	-	-	保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 ・54校PTA	-	-	A 保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託する。 ・54校PTA	-	生涯学習課
3 イベント等への参加促進	新規	年度当初に庁内関係各課イベント等の際の託児についての配慮を文書で依頼した。	0	0	年度当初に庁内関係各課イベント等の際の託児についての配慮を文書で依頼した。 託児実施課18課 実績729名(延べ人数)	0	0	A 年度当初に庁内関係各課イベント等の際の託児についての配慮を文書で依頼した。 託児実施予定課17課 託児実施予定581名(延べ人数)	0	全庁的に対応

## (4)基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

## 4-(1) 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

(網掛) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 育児休業取得等の推進・啓発	拡充	労働法サマーセミナー、労働学院、労働安全衛生セミナー及び(財)21世紀職業財団との共催講座等において育児休業取得等の推進・啓発リーフレット等を配布した。	0	0	各種講座での啓発リーフレットの配布に加え、中小企業退職金共済掛金補助申請をした事業所に資料を配布した。	0	0	A	講座受講者及び補助金等申請事業所に啓発資料を配布する。	0	商工振興課
2 ハローワーク求人情報の提供	継続	本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越において、ハローワーク川越求人情報を毎週更新し提供した。	0	0	本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越において、ハローワーク川越求人情報を毎週更新し提供した。11月からは、市ホームページでも情報提供を開始した。	0	0	A	本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越及び市ホームページにおいて、ハローワーク川越求人情報を毎週更新し提供する。	0	商工振興課
3 求職相談	継続	ハローワーク川越と協力して高齢者職業相談室において求職相談をおこなった。 相談件数7,332件 就職件数866件	1,063	928	ハローワーク川越と協力して高齢者職業相談室において求職相談をおこなった。 相談件数7,582件 就職件数916件	2,072	2,049	E	高齢者職業相談室に変わるものとして、主に団塊世代を対象としたキャリアカウンセリング、ライフプランセミナーを開催予定。 キャリアカウンセリング月2回 ライフプランセミナー年2回	852	商工振興課
4 資格・技能情報の収集と提供	継続	インターネットを利用した彩の国仕事発見システムを常時閲覧可能にして求人情報を提供した。 県就職支援プラザを連携して就職支援セミナーを開催した。 参加者18名	138	112	主に勤労者を対象にパソコン基礎講座を2回、宅建基礎講座を開催した。 第1回パソコン基礎講座 参加者延べ70名 第2回パソコン基礎講座 参加者延べ67名 宅建基礎講座 参加者延べ87名 彩の国仕事発見システムによる求人情報を提供した。	408	292	A	技術取得のための講座を6回程度開催予定。 彩の国仕事発見システムによる求人情報提供を引き続き実施。	432	商工振興課
5 国・県の機関との連携	継続	ハローワーク川越等と連携して若年者を対象とした若者就職面接会を開催した。 参加事業所38社 参加者119名 県西部産業労働センターと連携して労働法等に関する講座を開催した。 労働法サマーセミナー他 延べ参加者258名	695	276	ハローワーク川越等と連携して若年者を対象とした若者就職面接会を予定より増やし2回開催した。 第1回 参加事業所40社 参加者91名 第2回 参加事業所22社 参加者151名 県西部産業労働センターと連携して労働法等に関する講座を開催した。 労働法サマーセミナー他 延べ参加者374名	581	519	A	若者就職面接会を2回、労働法サマーセミナー、労働学院、労働安全衛生セミナー等をそれぞれ開催予定。	690	商工振興課
6 労働基本調査	継続	平成16年度に実施。次回は20年度予定。	0	0	平成16年度に実施。次回は20年度予定。	0	0	D	平成16年度に実施。次回は20年度予定。	0	商工振興課
7 労働相談	継続	勤労者、事業主双方を対象に社会保険労務士等による労働相談を実施した。 12回開催 相談7件	120	120	勤労者、事業主双方を対象に社会保険労務士等による労働相談を実施した。 12回開催 相談7件	120	120	A	勤労者、事業主双方を対象に社会保険労務士等による労働相談を実施する。 12回開催予定	120	商工振興課

8	一般事業主との連絡協議会	新規	川越市に本社がある301人以上雇用している事業主を対象に会議を開催した。2回開催 参加事業主 延べ4社	0	0	川越市に本社がある301人以上雇用している事業主を対象に会議を開催した。2回開催 参加事業主 延べ4社	0	0	C	参加事業主が少ないので、参加対象を広げて協議会等を開催するとともに、関係機関と協力して、計画の円滑な推進を図る。	0	子育て支援課
9	女性の就労支援事業	継続	女性の就労支援や資格取得を目的とした講座を実施した。 ・社会保険労務教室 15回 延べ293人 ・日商簿記3級講座 20回 延べ596人 ・ビジネス実務法務3級講座 15回 延べ452人 ・福祉住環境コーディネーター3級講座 8回 延べ268人 ・女性の再就職のためのパソコン基礎講座 6回 延べ58人 ・就労支援講座 1回 9人	885	885	女性の就労支援や資格取得を目的とした講座を実施した。 ・福祉住環境コーディネーター3級講座 8回 延べ231人 ・日商簿記3級講座 20回 延べ560人 ・ビジネス実務法務3級講座 15回 延べ221人 ・カラーコーディネーター3級講座 9回 延べ255人 ・POPレタリング講座 10回 延べ146人 ・Re・Beワークセミナー 2回 延べ32人 ・女性の再就職のためのパソコン基礎講座 12回 延べ205人 ・就労支援セミナー 1回 20人	1,148	1,148	A	女性の就労支援や資格取得を目的とした講座を実施する。 ・宅建基礎講座 25回 ・社会保険労務教室 15回 ・福祉住環境コーディネーター3級講座 8回 ・日商簿記3級講座 20回 ・カラーコーディネーター3級講座 9回 ・女性の再就職支援事業 1回 ・女性の再就職のためのパソコン基礎講座 12回	1,309	女性会館

4 - (2) 仕事と子育ての両立の推進 (網掛け) 重点施策 (進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 (単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 ファミリーサポートセンター事業 (5 - (1) - 8に掲載)	拡充	依頼会員 585名 提供会員 214名 依頼提供会員 25名 活動件数 5,510件	-	-	依頼会員 714名 提供会員 269名 依頼提供会員 28名 活動件数 5,475件	-	-	A	依頼会員 890名 提供会員 330名 依頼提供会員 30名 活動件数 5,300件 課題:取扱い窓口が1箇所しかないので地域の為に増設する。	-	保育課
2 学童保育事業 (5 - (1) - 1に掲載)	拡充	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育した。  1,824人	-	-	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育した。  1,850人	-	-	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育する。  2,082人	-	教育財務課
3 病後児保育事業(施設型) (5 - (1) - 2に掲載)	新規	開設に向けて、調査研究を行った。  【0箇所・0人】	0	0	開設に向けて、調査研究を行った。  【0箇所・0人】	0	0	C	平成20年度の開設に向けて、関係団体調整を図る。 【1箇所・10人】	0	保育課
4 一時保育事業 (5 - (1) - 3に掲載)	拡充	公立保育所5園、法人立保育所1園で実施。 法人立保育所に対し、平成18年度に新規実施希望があるか打診。	-	-	公立保育所5園、法人立保育所4月時3園、7月時1園、10月から1園、計5園で実施。	-	-	A	法人立保育所に対し、平成20年度の新規事業実施について打診。	-	保育課
5 特定保育事業 (5 - (1) - 4に掲載)	新規	一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として特定保育事業に相当する事業を実施。	-	-	一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として特定保育事業に相当する事業を実施。	-	-	A	通常保育事業と一時的保育事業と特定保育事業をどのように区分し、実施するかを検討。	-	保育課
6 「つどいの広場」 (3 - (2) - 1に掲載)	新規	7月から川越福祉センター、南古谷第二保育園、笠幡菜の花保育園(法人園)の3箇所で事業を開始した。 【3箇所】	-	-	6月から新たに高階保育園、神明町保育園で事業を開始した。 【5箇所】	-	-	B	既に実施している川越福祉センターを午後も実施した。 本年度2箇所開設する予定 【10箇所】	-	保育課

7	法人立保育所への支援 (5 - (2) - 7に掲載)	拡充	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成した。	-	-	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成した。	-	-	A	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成する。	-	保育課
8	家庭保育室委託事業 (5 - (2) - 8に掲載)	拡充	・委託費、研修費、保育補助者推進費の単価を増額した。 ・第二子軽減費の適用範囲を拡大 平成17年度入所児童数(延べ)2743名(市外委託分含む) 平成17年度入所率67.5%	-	-	・保育料軽減費の一部改正を実施した。 平成18年度入所児童数(延べ)2739名(市外委託分含む) 平成18年度入所率76.4%	-	-	B	家庭保育室に入室している児童の保護者の保育料負担額が認可保育園に比べて高い傾向にあること等から入室率が7割程度となっている。家庭保育室の運営の安定化及び保護者の保育料負担額の公平性から保育料軽減費の見直しを図る必要がある。	-	保育課
9	認可外保育施設への助成制度 (5 - (2) - 9に掲載)	拡充	家庭保育室以外の認可外保育施設への助成制度について調査・研究を行った。	-	-	家庭保育室以外の認可外保育施設への助成制度について調査・研究を行った。	-	-	B	県及び他市の動向を踏まえ、検討する。	-	保育課
10	認可外保育施設等の認可化支援 (5 - (2) - 10に掲載)	拡充	事案なし	-	-	事案なし	-	-	D	認可外の保育施設が認可化を行なうために施設整備を行う場合、国が規定する施設整備補助事業に該当する場合に、国の補助に併せて市からも補助を行なう。	-	保育課
11	幼稚園での預かり保育事業 (5 - (2) - 11に掲載)	拡充	(人数割) 1～2歳児 300,000×30 = 9,000,000 3歳以上 170,000×326 = 55,420,000 長期休業加算 27園×300,000 = 8,100,000 施設経費補助 29園×400,000 = 11,600,000	-	-	(人数割) 1～2歳児 300,000×42 = 12,600,000 3歳以上 170,000×324 = 55,080,000 長期休業加算 27園×300,000 = 8,100,000 施設経費補助 29園×400,000 = 11,600,000	-	-	A	(人数割) 1～2歳児 300,000×39 = 11,700,000 3歳以上 170,000×359 = 61,030,000 長期休業加算 30園×300,000 = 9,000,000 施設経費補助 30園×400,000 = 12,000,000	-	保育課

## (5)基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

(網掛) 重点施策

## 5 - (1) 地域における子育て支援サービスの充実

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 学童保育事業	拡充	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育した。 【1,824人】	367,949	354,609	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育した。 【1,850人】	410,565	-	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育する。 【2,082人】	451,777	教育財務課
2 病後児保育事業(施設型)	新規	開設に向けて、調査研究を行った。 【0箇所・0人】	0	0	開設に向けて、調査研究を行った。 【0箇所・0人】	0	0	C	平成20年度の開設に向けて、関係団体調整を図る。 【1箇所・10人】	0	保育課
3 一時保育事業	拡充	公立保育所5園、法人立保育所1園で実施。 法人立保育所に対し、平成18年度に新規実施希望があるか打診。 【6箇所・60人】			公立保育所5園、法人立保育所4月時3園、7月時1園、10月から1園、計5園で実施。 【11箇所・110人】			A	法人立保育所に対し、平成20年度の新規事業実施について打診。 【24箇所・120人】		保育課
4 特定保育事業	新規	一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として特定保育事業に相当する事業を実施。 【6箇所・60人】			一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として特定保育事業に相当する事業を実施。 【11箇所・110人】			A	通常保育事業と一時的保育事業と特定保育事業をどのように区分し、実施するを検討。 【24箇所・120人】		保育課
5 地域子育て支援センター事業	拡充	電話相談(毎週月・水・金曜日) 育児相談(毎週月・水曜日) 子育て情報紙「わくわく」の発行 月1回 子育て講座(公民館と共催) 保育ボランティアの養成  サークル支援・育成、その他の支援(講習会等)・子育て情報紙の発行 【3箇所】			電話相談(毎週月・水・金曜日) 育児相談(毎週月・水曜日) 子育て講座(公民館と共催) 子育てボランティアの育成支援 サークル支援・育成、その他の支援(講習会等) 【6箇所】			B	19年度より支援室の利用時間を延ばし実施する。 今成支援室(9:15-12:00 14:45-16:30)月～金 名細支援室(9:30-12:00 13:00-16:30)月～金 【5箇所】		保育課
6 保育所による地域子育て支援事業	拡充	支援センター...下田保育園、パンピ保育園、風の子保育園、今成支援室、名細支援室 つどいの広場...笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園 川越福祉センター 【28箇所】			支援センター...今成支援室、名細支援室、下田保育園、むさしの保育園、増美保育、パンピ保育園、風の子保育園 つどいの広場...笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園、神明町保育園、高階保育園 川越福祉センター 【30箇所】			B	支援センター...今成支援室、名細支援室、下田保育園、むさしの保育園、増美保育、パンピ保育園、風の子保育園 つどいの広場...笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園、神明町保育園、高階保育園 川越福祉センター 【34箇所】		保育課
7 「つどいの広場」(3-(2)-1の再掲)	新規	7月から川越福祉センター、南古谷第二保育園、笠幡菜の花保育園(法人園)の3箇所で開催した。 【3箇所】	-	-	6月から新たに高階保育園、神明町保育園で事業を開始した。 【5箇所】	-	-	B	既に実施している川越福祉センターを午後も実施した。 本年度2箇所開設する予定 【10箇所】	-	保育課
8 ファミリーサポートセンター事業	拡充	依頼会員 585名 提供会員 214名 依頼提供会員 25名 活動件数 5,510件	15,285	11,827	依頼会員 714名 提供会員 269名 依頼提供会員 28名 活動件数 5,475件	15,953	11,411	A	依頼会員 890名 提供会員 330名 依頼提供会員 30名 活動件数 5,300件  課題:取扱い窓口が1箇所しかないので地域の為に増設する。	12,678	保育課

9	家庭児童相談	拡充	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。また、子育て講演会を実施した。 ・相談件数 3,558件 ・子育て講演会 1回 79名	5,081	4,971	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。また、子育て講演会を実施した。 ・相談件数 3,404件 ・子育て講演会 1回 86名	5,051	4,938	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。	4,971	子育て支援課
10	女性のための相談事業	継続	母子自立支援員が母子家庭等の様々な悩みや生活全般についての相談を受けた。 母子家庭相談件数 3,533件	6,945	6,950	母子自立支援員が母子家庭等の様々な悩みや生活全般についての相談を受けた。 母子家庭相談件数 4,856件	6,908	6,907	A	新たに就業支援相談員兼母子家庭自立支援プログラム策定員を配置し、相談体制の充実を図る。	6,918	子育て支援課
			女性の人権を守り、女性が抱えるさまざまな問題を解決するために相談に応じた。 ・カウンセリングルーム 51回187件 ・女性のためのからだの相談 24回20件	1,453	1,378	女性の人権を守り、女性が抱えるさまざまな問題を解決するために相談に応じた。 ・カウンセリングルーム 51回180件 ・女性のためのからだの相談 12回17件	1,360	1,278	A	女性の人権を守り、女性が抱えるさまざまな問題を解決するために相談に応じる。 ・カウンセリングルーム 50回200件 ・女性のためのからだの相談 12回30件	1,335	男女共同参画課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

5 - (2) 保育サービスの充実

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 通常保育事業	拡充	公立保育所20園、定員数1730人 延べ入所児童数:20787人 法人立保育所12園、定員数790人 延べ入所児童数:10269人 【2,520人】			公立保育所20園、定員数1730人 延べ入所児童数:21100人 法人立保育所13園、定員数865人 延べ入所児童数:10373人 注)定員数は10月1日以降 【2,595人】			A	認可保育所の定員数の増加に努める。 【3,098人】		保育課
2 延長保育事業	拡充	平成17年7月から公立保育所の全てで1時間(高階保育園は2時間)の延長保育を実施 民間保育所では、12園中11園で実施 実施園については、所要額を助成 【31箇所・545人】			平成17年7月から公立保育所の全てで1時間(高階保育園は2時間)の延長保育を実施 民間保育所では、13園中11園で実施 実施園については、所要額を助成 【31箇所・589人】			A	平成17年7月から公立保育所の全てで1時間(高階保育園は2時間)の延長保育を実施予定 民間保育所では、13園中12園で実施 実施園については、所要額を助成予定 【35箇所・1,090人】		保育課
3 統合保育事業	拡充	保育所において障害児保育を実施 平成17年4月時:63人			保育所において障害児保育を実施 平成18年4月時:75人			A	保育所において障害児保育を実施予定 平成19年4月時:77人		保育課
4 土曜保育事業	新規	平成17年7月から名細第二保育園において午後6時30分までの保育を試行事業として実施。			平成17年7月から名細第二保育園において午後6時30分までの保育を試行事業として実施。  試行事業の内容等を検討			C	試行事業の検討結果を踏まえ、他の公立保育所の実施を予定		保育課
5 産休明け保育事業	新規	産休明け保育の実施について検討	0	0	産休明け保育の実施について検討	0	0	B	産休明け保育の実施について検討	0	保育課
6 公立保育所の運営方法の検討	新規	・川越市社会福祉審議会児童福祉分科会、川越市次世代育成支援対策地域協議会における検討	0	0	・川越市社会福祉審議会児童福祉分科会、川越市次世代育成支援対策地域協議会における検討	0	0	C	・川越市社会福祉審議会児童福祉分科会、川越市次世代育成支援対策地域協議会における検討	0	保育課

7	法人立保育所への支援	拡充	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成した。			民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成した。			A	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成する。		保育課
8	家庭保育室委託事業	拡充	・委託費、研修費、保育補助者推進費の単価を増額した。 ・第二子軽減費の適用範囲を拡大 平成17年度入所児童数(延べ)2743名(市外委託分含む) 平成17年度入所率67.5%	170,782	141,772	・保育料軽減費の一部改正を実施した。 平成18年度入所児童数(延べ)2739名(市外委託分含む) 平成18年度入所率76.4%	149,025	138,304	B	家庭保育室に入室している児童の保護者の保育料負担額が認可保育園に比べて高い傾向にあること等から入室率が7割程度となっている。 家庭保育室の運営の安定化及び保護者の保育料負担額の公平性から保育料軽減費の見直しを図る必要がある。	171,018	保育課
9	認可外保育施設への助成制度	拡充	家庭保育室以外の認可外保育施設への助成制度について調査・研究を行った。	0	0	家庭保育室以外の認可外保育施設への助成制度について調査・研究を行った。	0	0	B	県及び他市の動向を踏まえ、検討する。	0	保育課
10	認可外保育施設等の認可化支援	拡充	事案なし			事案なし			D	認可外の保育施設が認可化を行なうために施設整備を行う場合、国が規定する施設整備補助事業に該当する場合には、国の補助に併せて市からも補助を行なう。		保育課
11	幼稚園での預かり保育事業	拡充	(人数割) 1～2歳児 300,000×30=9,000,000 3歳以上 170,000×326=55,420,000 長期休業加算 27園×300,000=8,100,000 施設経費補助 29園×400,000=11,600,000	75,190	84,120	(人数割) 1～2歳児 300,000×42=12,600,000 3歳以上 170,000×324=55,080,000 長期休業加算 27園×300,000=8,100,000 施設経費補助 29園×400,000=11,600,000	80,000	87,380	A	(人数割) 1～2歳児 300,000×39=11,700,000 3歳以上 170,000×359=61,030,000 長期休業加算 30園×300,000=9,000,000 施設経費補助 30園×400,000=12,000,000	93,730	保育課
12	保育士研修	継続	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施した。 乳幼児保育研修など12回、延べ約2100人が参加した。また市内の認可外保育施設の保育従事者等を対象に県・さいたま市等と共催で研修会を実施した。	1,500	1,450	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施した。 乳幼児保育研修など12回、延べ約2100人が参加した。また市内の認可外保育施設の保育従事者等を対象に県・さいたま市等と共催で研修会を実施した。	1,490	1,430	A	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施 ・乳児保育研修 3回 参加者400人 ・障害児保育研修 4回 参加者500人 ・こどもの病気予防救急法の研修 4回 参加者400人 ・食育に関する研修 3回 参加者300人 ・心とからだの発達に関する研修 3回 参加者450人	1,485	保育課
13	保育サービス評価の仕組の導入検討	新規	事案なし			川越市立保育園福祉サービス第三者評価事業…(1園実施) 民間保育園福祉サービス第三者評価事業補助金…(1園実施)未実施	500	459	B	川越市立保育園福祉サービス第三者評価事業…(1園実施) 民間保育園福祉サービス第三者評価事業補助金…課題は、民間保育園が事業への協力が必要である。	500	保育課
14	認証保育所制度の検討	新規	東京都、横浜市、さいたま市等の認可外保育施設に関する各種制度の調査・研究を行った。	0	0	引き続き先進的な取り組みについて調査・研究を行うとともに市内の認可外保育施設の状況分析を行った。	0	0	B	国の認定こども園制度が創設されたので、認証保育所制度との整合性について検討する。	0	保育課

5 - (3) 子どもの健全育成の取組

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 子どもに関する条例	新規	特になし	0	0	他の自治体の子ども条例の研究	0	0	C	他の自治体の子ども条例の研究	0	教育指導課 人権推進課 青少年課 子育て支援課
2 人権保育	拡充	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに保育所の人権保育を推進した。	0	0	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに保育所の人権保育を推進した。	0	0	A	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに保育所の人権保育を推進する。	0	保育課
3 児童手当	継続	・児童手当制度の周知に努めた。  ・支給対象児童数 合計:252,077人	0	0	・児童手当制度拡充の周知を図った(申請事由別に個別通知とともに、申請書を郵送した) ・電子申請の受付を開始した ・自治体によってホームページの情報量に差があることから、厚生労働省のホームページを充実させてもらうよう要望した。 ・平成19年度児童手当制度の拡充につき、通知書を住民にわかり易い様式にしてみらえるよう要望した。 ・支給対象児童数 合計:333,811人	1,494	1,128	A	・市ホームページの整備 ・児童手当制度拡充(乳幼児加算)の周知(該当者に個別通知を郵送)  ・予算上の支給対象児童数 合計:332,321人	0 270  2,160	子育て支援課
4 就園奨励費	継続	保護者の経済的負担を軽減することができた  支給合計 6,037 名	337,607	336,297	新条件導入により、保護者への補助が拡充した 支給合計 6,052 名 (うち新条件該当 611 名)	345,261	345,230	A	国基準に従って、保護者の経済的負担をさらに軽減できるように努める	370,923	教育財務課
5 スポーツ少年団 (2-(3)-7の再掲)	継続	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催した。 参加者数合計 3,454名	-	-	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催した。 参加者数合計 3,390名	-	-	A	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催する。	-	市民スポーツ課
6 学校体育施設開放事業 (2-(3)-8の再掲)	継続	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数273,468名。霞北プール開放参加人数3,930名。学校プール開放参加人数216名。	-	-	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数232,440名。霞北プール開放参加人数3,130名。学校プール開放参加人数219名。	-	-	A	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放する。	-	市民スポーツ課
7 地域組織活動への研修	拡充	保健推進員に対する研修会の開催及び母子保健に関する情報提供などを支援した。また、他の団体からの依頼により、講座・講演等を実施した。	0	0	保健推進員に対する研修会の開催及び母子保健に関する情報提供などを支援した。また、他の団体からの依頼により、講座・講演等を実施した。	0	0	A	保健推進員に対する研修会を実施したことにより、保健推進員の資質の向上に寄与することができた。なお、今後も地域組織活動への研修を実施していく。	0	総合保健センター
8 児童館	拡充	高階公共施設に建設予定の児童・青少年施設の運営等について、関係課と検討を行なった。	0	0	高階公共施設に設置する児童・青少年施設の運営等について、関係課と検討を行なった。	0	0	A	高階公共施設に設置する児童・青少年施設の運営等について、関係課と検討を行なった。	3,300	青少年課



9	児童遊園	継続	市内186箇所の児童遊園について、点検及び地元自治会からの要望等により、工事、修繕等の整備を実施した。 ・廃止 2箇所 ・工事 2箇所 ・修繕等 述べ73箇所	17,792	17,383	市内183箇所の児童遊園について、点検及び地元自治会からの要望等により、工事、修繕等の整備を実施した。 ・新設 1箇所 ・廃止 3箇所 ・工事 2箇所 ・修繕等 延べ49箇所	14,513	13,890	A	地域の状況に鑑み、児童遊園を配置していくとともに、遊具等の施設について安全に利用できるよう整備に努めていく。	13,723	青少年課
10	児童館機能の整備	継続	開館日数 308日 利用者数 49,954人(個人任意 38,303人 集団指導11,620人、団体31人) 集団指導内訳 ・乳幼児/保護者 んなであそぼう1・2・3 実施回数66回、参加人数5,188人 他 10事業、実施回数 100回 参加人数 5,319人 ・学 童 つくってあそんで 実施回数 13回、参加人数 56人 他 5事業、実施回数 78回 参加人数 789人 ・児童(17歳まで) おもちゃの病院 実施回数 12回、参加人数 157人 他 3事業 実施回数 3回 参加人数 111人 合 計 21事業 実施回数272回 参加人数 11,620人	18,346	18,229	開館日数 309日 利用者数 54,135人(個人任意41,811人 集団指導12,277人、団体47人) 集団指導内訳 ・乳幼児/保護者 みんなであそぼう1・2・3 実施回数70回、参加人数5,828人 他 11事業、実施回数 95回 参加人数 5,348人 ・学 童 つくってあそんで 実施回数 20回、参加人数103人 他 4事業、実施回数 70回 参加人数 677人 ・児童(17歳まで) おもちゃの病院 実施回数 12回、参加人数123人 他 3事業、実施回数 5回 参加人数 198人 合 計 21事業 実施回数272回 参加人数 12,277人	18,984	18,941	A	継続して事業を進める	21,799	青少年課 (東口児童館)
			児童センターこどもの城開館日数302日 利用者数49,458人(児童館44,547人・プラネタリウム4,848人・天体観測63人) 実施事業等の内訳 ・乳幼児親子活動 110回 7,880人 ・学童自由参加活動 147回 2,178人 ・学童登録参加活動 13回 237人 ・学童クラブ活動 64回 821人 ・体力増進指導活動 399回 8,380人 ・プラネタリウム 春夏秋冬ほか 4,848人 ・天体観測 太陽黒点・月・星 63人	57,370	55,168	児童センターこどもの城開館日数302日 利用者数52,609人(児童館47,162人・プラネタリウム5,373人・天体観測74人) 実施事業等の内訳 ・乳幼児親子活動 120回 8,704人 ・学童自由参加活動 141回 2,188人 ・学童自由参加活動 13回 275人 ・学童クラブ活動 64回 810人 ・体力増進指導活動 399回 8,179人 ・プラネタリウム 春夏秋冬ほか 5,373人 ・天体観測 太陽黒点・月・星 74人	56,138	54,345	A	継続して事業を推進	54,524	青少年課 (児童センター)
11	青少年市民会議	継続	青少年の健全育成運動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係団体と協働で各種事業を実施した。 ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 6地区 ・青年海外協力隊激励 3名 ・健全育成市民大会 480名参加	4,500	4,500	青少年の健全育成運動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係団体と協働で各種事業を実施した。 ・地区会議活動費助成 21地区 ・モデル地区補助事業 7地区 9事業 ・青年海外協力隊激励 7名 ・健全育成市民大会 484名参加	4,500	4,416	A	青少年の健全育成運動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係団体と協働で各種事業を実施する。 ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 4地区 ・青年海外協力隊激励 7名 ・健全育成市民大会 600名参加	4,050	青少年課
12	青少年団体	継続	青少年団体主催行事について、広報川越に掲載をした。また、補助金を交付し、活動の充実を図った。 ・川越市青少年団体連絡協議会 加盟4団体 ・川越市青少年相談員協議会	571	564	青少年団体主催行事について、広報川越に掲載をした。また、補助金を交付し、活動の充実を図った。 ・川越市青少年団体連絡協議会 加盟4団体 ・川越市青少年相談員協議会	461	453	A	青少年団体主催行事について、広報川越に掲載をした。また、補助金を交付し、活動の充実を図る。 ・川越市青少年団体連絡協議会 加盟4団体 ・川越市青少年相談員協議会	453	青少年課
13	「子ども110番の家」	継続	「青少年を育てる市民会議」を通じて、子ども110番プレート作成等に補助金を交付した。 ・青少年を育てる地区会議 10地区	600	500	「青少年を育てる市民会議」を通じて、子ども110番プレート作成等に補助金を交付した。 ・青少年を育てる地区会議 12地区	600	600	A	「青少年を育てる市民会議」を通じて、子ども110番プレート作成等に補助金を交付する。	300	青少年課

14	青少年の体験活動事業	継続	「青少年を育てる市民会議」に委託し、友好都市北海道中札内村を中心に、市内中学生を対象にした「少年の翼」事業を実施した。 ・市内中学生44名	3,800	3,800	「青少年を育てる市民会議」に委託し、友好都市北海道中札内村を中心に、市内中学生を対象にした「少年の翼」事業を実施した。 ・市内中学生44名	3,600	3,600	A	「青少年を育てる市民会議」に委託し、友好都市北海道中札内村を中心に、市内中学生を対象にした「少年の翼」事業を実施する。	3,700	青少年課
15	非行防止活動	継続	少年指導センターにおいて、少年補導員を中心とした街頭補導活動を704回実施した。24件の少年相談にも応じ、非行を未然に防ぐ活動を実施した。	9,799	9,589	少年指導センターにおいて、少年補導員を中心とした街頭補導活動を681回実施した。11件の少年相談にも応じ、非行を未然に防ぐ活動を実施した。	9,133	8,513	A	少年指導センターにおいて、少年補導員を中心とした街頭補導活動を積極的に行う。青少年の相談にも従事し、青少年の非行を未然に防ぐ活動を実施する。	10,075	青少年課
16	不登校児童生徒支援スタッフ事業	継続	不登校児童生徒の相談に応じるとともに、家庭訪問や学習支援等を実施した。 ・スタッフ10名を22校に配置 ・活動日数 延べ1,694日 ・相談件数 延べ5,192件	9015	8,984	不登校児童生徒の相談に応じるとともに家庭訪問や学習支援等を実施した。 ・スタッフ11名を11校に配置 ・活動日数 延べ1,760日 ・相談件数 延べ7,369件	9,916	9,810	E	終了	0	教育研究所
17	適応指導教室	継続	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室 小学生2人 中学生10人	40	3	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室 中学生7人	80	119	A	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施する。 ・通室 中学生7人	70	教育研究所
18	地域子どもサポート推進事業	拡充	子どもたちの「生きる力」を育むために、家庭、学校、社会教育施設(公民館)、地域社会のネットワークの中で育てる主旨から、相互に協働し実践を重ねた結果、将来にわたり活動できる基盤ができたことが成果である。	1,933	1,611	市内全域14地区に「地域子どもサポート委員会」を組織し、地域ぐるみの活動を始めることができた。地域団体関係者、ボランティアの方々、学校職員、公民館等社会教育施設職員を加え、会議を重ねる中で信頼関係を築き、地域啓発講演会の開催、地域情報誌の発行、地域人材の発掘と育成、子ども対象事業の支援・実施など幅広い活動に取り組むことができた。	2,170	1,932	A	市内14地区の地域子どもサポート委員会と委託契約を結び、地域の実態に応じ、特色を生かした取り組みを進めていく計画である。大きなイベントだけを行うのではなく、継続して子どもたちをサポートしていける取り組みを行うことを確認している。 地域によって、スムーズにスタートできないところもあるので、支援をしていく必要がある。また、サポート事業の知名度を高めていこう、様々な機会呼びかけていくことが重要であると考える。	3,063	生涯学習課
19	ブックスタート事業	継続	4ヶ月健診会場等で、親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡した。 36回実施し、2,566組が参加した。	5,234	4,732	4ヶ月健診会場等で、親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡した。 36回実施し、2,645組が参加した。	4,706	4,606	A	4ヶ月健診会場等で、親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡す。	4,684	中央図書館
20	いないいないばあのおはなし会	継続	0から1歳児の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行った。 3館合わせて48回実施し、1,652組が参加した。	0	0	0から1歳児の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行った。 3館合わせて48回実施し、1,439組が参加した。	0	0	A	0から1歳児の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行う。	0	中央図書館
21	民生委員・児童委員研修会	継続	民生委員・児童委員研修 ・初任者研修 ・中堅者研修 ・主任児童委員研修等 民生委員・児童委員研修を実施し、子育て、子供の地域生活等の相談・支援活動の向上に努めた。 参考 相談支援件数 2,364件	100	59	民生委員・児童委員研修 ・初任者研修 ・中堅者研修 ・主任児童委員研修 民生委員・児童委員研修を実施し、子育て、子供の地域生活等の相談・支援活動の向上に努めた。 参考 相談支援件数 2,759件	100	50	B	民生委員・児童委員研修 ・初任者研修(総改選によるもの) ・中堅者研修 ・主任児童委員研修 民生委員・児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるように努める。	150	生活福祉課
22	スチューデントサポーター派遣事業	継続	学生ボランティアが、家庭訪問等を通して、不登校児童生徒を支援した。 ・参加学生19名 ・活動回数 延べ192回	450	650	学生ボランティアが、家庭訪問等を通して、不登校児童生徒を支援した。 ・参加学生15名 ・活動回数 延べ196回	540	518	A	学生ボランティアが、家庭訪問等を通して、不登校児童生徒を支援する。 ・15名で対応予定	540	教育研究所

5 - (4) 体験活動・交流の促進

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		予算額	所管課	
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額			
1 川越PTA連合会活動	継続	市内小中学校PTAの常置委員会の研修を深め、PTA活動の充実、推進を図るためPTA運営講座を実施した。 総務財政委員会・広報委員会・環境保健委員会・ 学年学級進路委員会・成人教育委員会 (家庭教育学級運営講座)	90	82	市内小中学校PTAの常置委員会の研修を深め、PTA活動の充実、推進を図るためPTA運営講座を実施した。 総務財政委員会・広報委員会・環境保健委員会・ 学年学級進路委員会・成人教育委員会 (家庭教育学級運営講座)	90	90	A	市内小中学校PTAの常置委員会の研修を深め、PTA活動の充実、推進を図るためPTA運営講座を実施する。 総務財政委員会・広報委員会・環境保健委員会・ 学年学級進路委員会・成人教育委員会 (家庭教育学級運営講座)	90	生涯学習課
2 子育て体験学習 (1 - (3) - 3の再掲)	新規	学校からの依頼により、中学生を対象に、子育て体験学習を随時実施した。	-	-	学校からの依頼により、中学生を対象に、子育て体験学習を随時実施した。	-	-	B	今後も啓発活動を強化していく。	-	総合保健センター
3 川越市子ども会育成者団体連絡協議会活動	継続	補助金の交付により、広報誌の発行や視察研修の実施により子ども会活性化に寄与している。また安全会費の補助により加入者負担を軽減し、加入率向上により子ども会活動の充実が図られている。	1,045	1,040	補助金の交付により、広報誌の発行や視察研修の実施により子ども会活性化に寄与している。また安全会費の補助により加入者負担を軽減し、大幅な加入率向上がみられた。	1,015	1,017	A	補助金交付により、団体の自主的活動の推進を目的とする。また今年度以降の保険業法改正にともなう安全会費の値上がりには、新たに基金を設けるなどの対応を促したい。	1,015	生涯学習課
4 地域人材活用事業	継続	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開されるようにした。 (3,000円×56校×4人)	1,344	1,239	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開されるようにした。 (3,000円×56校×4人)	1,344	1,350	A	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開されるようにする。 (3,000円×56校×4人)	1,344	学校管理課
5 中学生社会体験事業 (2 - (1) - 2の再掲)	継続	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、豊かな感性や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができ ・参加生徒数 2,849人 ・協力事業所 803社	-	-	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,833人 ・協力事業所 784社	-	-	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。 ・参加生徒数 2,899名(予定)	-	教育指導課
6 生きがい活動支援通所事業	継続	霞ヶ関東小学校の空き教室を利用したデイサービスセンターを1クラスずつ在校生が訪れ、利用者の高齢者と交流を図った。交流内容は、歌、昔遊び(こま・おはじき)、体験談(戦争・原爆)など。	8,098	8,041	17年度に引き続き、利用者と在校生が交流した。利用者は小学生との触れ合いを喜び、小学生も体験談を真剣に聞くなど、高齢者だから持っている知識・体験に触れることができた。	8,019	8,019	A	引き続き、利用者に小学生との交流を楽しんでもらうとともに、高齢者と触れ合う機会が少なくなっている子どもたちに交流の場を提供する。	8,288	高齢者いきがい課
7 体験学習(小学生対象)	継続	子どもの自然体験や社会体験活動の振興を促す事業を実施した。 23講座 57回 参加者延べ1,146人	1,307	694	子どもの自然体験や社会体験活動の振興を促す事業を実施した。 24講座 95回 参加者延べ3,139人	3,156	2,075	A	子どもの自然体験や社会体験活動の振興を促す事業を実施する。	2,300	中央公民館
8 土曜体験教室 (2 - (2) - 14の再掲)	継続	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供した。  22回 延べ1426人	-	-	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供した。  21回 延べ1232人	-	-	A	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供する。	-	博物館
9 子ども博物館教室 (2 - (2) - 15の再掲)	継続	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めた。  3回 延べ142人	-	-	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めた。  3回 延べ98人	-	-	A	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深める。	-	博物館

10	夏休み子ども体験 (2-(2)-16の再掲)	継続	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供した。 3回 延べ211人	-	-	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供した。 4回 延べ232人	-	-	A	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供する。	-	博物館
11	昔の遊び (2-(2)-17の再掲)	継続	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供した。 2回 延べ255人	-	-	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供した。 2回 延べ225人	-	-	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供する。	-	博物館
12	海外姉妹都市交流事業	継続	市内中学校生徒を海外姉妹都市オッフェンバッハ市へ派遣した。 派遣人数 引率4名・中学校生徒22名	3,500	2,990	市内中学校生徒を海外姉妹都市セーレム市へ派遣した。 派遣人数 引率4名・中学校生徒22名	3,500	2,890	A	市内中学校生徒を海外姉妹都市オッフェンバッハ市へ派遣する。 予定人数 引率4名・中学校生徒22名	3,301	国際交流課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

5-(5) 地域における子育て支援のネットワークづくり

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 つどいの広場 (3-(2)-1の再掲)	新規	7月から川越福祉センター、南古谷第二保育園、笠幡菜の花保育園(法人園)の3箇所で開催した。 【3箇所】	-	-	6月から新たに高階保育園、神明町保育園で事業を開始した。 【5箇所】	-	-	B	既に実施している川越福祉センターを午後も実施した。 本年度2箇所開設する予定 【10箇所】	-	保育課
2 地域子育て支援センター事業 (5-(1)-5の再掲)	拡充	電話相談(毎週月・水・金曜日) 育児相談(毎週月・水曜日) 子育て情報紙「わくわく」の発行 月1回 子育て講座(公民館と共催) 保育ボランティアの養成 サークル支援・育成、その他の支援(講習会等)・子育て情報紙の発行 【3箇所】	-	-	電話相談(毎週月・水・金曜日) 育児相談(毎週月・水曜日) 子育て講座(公民館と共催) 子育てボランティアの育成支援 サークル支援・育成、その他の支援(講習会等) 【6箇所】	-	-	B	19年度より支援室の利用時間を延ばして実施する。 今成支援室(9:15-12:00 14:45-16:30)月～金 名細支援室(9:30-12:00 13:00-16:30)月～金 【5箇所】	-	保育課
3 保育所による地域子育て支援事業 (5-(1)-6の再掲)	拡充	支援センター... 下田保育園、パンピ保育園、風の子保育園、今成支援室、名細支援室 つどいの広場... 笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園 川越福祉センター 【28箇所】	-	-	支援センター... 今成支援室、名細支援室、下田保育園、むさしの保育園、増美保育、パンピ保育園、風の子保育園 つどいの広場... 笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園、神明町保育園、高階保育園 川越福祉センター 【30箇所】	-	-	B	支援センター... 今成支援室、名細支援室、下田保育園、むさしの保育園、増美保育、パンピ保育園、風の子保育園 つどいの広場... 笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園、神明町保育園、高階保育園 川越福祉センター 【34箇所】	-	保育課
4 子育てサークルへのお出前講座	拡充	地域で活動している「子育てサークル」に出向き、一緒に遊んだり、子育てについて話し合いする等、子育てが楽しくなるようにサポートをした。また、新しくサークルを作りたいお母さん方の相談に応じた(年33回実施)	-	-	子育て講座 (公民館と共催)5回コース8回 (公民館主催講座) 8回 サークル支援 72回 その他の支援、 研修、講習会等 6回 保育ボランティアの育成支援	-	-	A	子育て講座 43回(予定) サークル支援 30回(予定) その他の支援(研修、講習会等) 未定	-	保育課
	拡充	保健センター、市内公民館等で活動する、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 13回 参加者延べ466人	-	-	保健センター、市内公民館等で活動する、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 13回 参加者延べ382人	-	-	A	保健センター、市内公民館等で活動する、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等が実施できた。 今後も、講座開催の機会が増やしていけるよう、公民館等関係機関と連携を図るとともに、子育てサークル等にも周知していく。	-	総合保健センター

5	子育てサークルへの施設提供	新規	子育てサークルへの活動の場の提供を行った。	0	0	子育てサークルへの活動の場の提供を行った。	0	0	A	子育てサークルへの活動の場の提供を行う。	0	中央公民館
6	子育てサロン事業	拡充	公民館を会場に子育ての悩みや情報を分かち合うサロンを開催した。 19講座 240回 参加者延べ9,155人	1,530	1,490	公民館を会場に子育ての悩みや情報を分かち合うサロンを開催した。 19講座 261回 参加者延べ10,721人	2,101	2,041	A	公民館を会場に子育ての悩みや情報を分かち合うサロンを開催する。	2,254	中央公民館
7	子育てサポーター養成講座	継続	子育てを支援する地域のサポーターを養成した。 2講座 10回 参加者延べ192人	125	175	子育てを支援する地域のサポーターを養成した。 1講座 6回 参加者延べ52人	80	96	B	子育てを支援する地域のサポーターを養成する。	80	中央公民館
8	子育てネットワーク事業	新規	未実施	0	0	未実施	0	0	D	実施に向けて、他市の状況を調査する。	0	子育て支援課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

5 - (6) 子育て情報提供の充実

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 育児情報発信活動	拡充	川越子育てネットワークが作成した、「子育てガイドマップ」などに情報提供及び作成協力をした。	42	53	川越子育てネットワークが作成した、「子育てガイドマップ」などに情報提供及び作成協力をした。	45	61	A	川越子育てネットワークが作成した、「子育てガイドマップ」などに情報提供及び作成協力などの支援を実施した。今後も積極的に情報提供・作成協力を行う。	0	総合保健センター
	拡充	子育て情報紙「子育てわくわく」毎月1回発行(発行部数1,100部)  配布先 公的機関・子育てサークル・その他  子育てリーフレット「利用のしおり」	-	-	子育て情報紙「子育てわくわく」、子育てリーフレット、各支援室の利用のしおり  案内「お気軽にお越し下さい」 すこやか保育等	-	-	B	平成17・18年度と同様手遊びやわらべうた等参加者に配布  冊子利用案内～絵本、食事、遊び、ミニ冊子、しおり等  「子育てハンドブック」(表題未定)11月予「離乳&子育て初めてガイド」	-	保育課
2 育児サークル支援	拡充	保健センター、市内公民館等で活動する、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 13回 参加者延べ466人	-	-	保健センター、市内公民館等で活動する、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 13回 参加者延べ382人	-	-	A	講座実施の機会が増やしていけるよう、公民館等関係機関と連携を図るとともに、子育てサークル等にも周知していく。	-	総合保健センター
	拡充	サークル支援 年間53回 (大人747、子ども935人参加) 内容 手遊び、ふれあい遊び、わらべうた、集団遊び、ペープサート、人形劇、パネルシアター、制作、エプロンシアター、大型絵本等	-	-	サークル支援  内容 手遊び、ふれあい遊び、わらべうた、集団遊び、ペープサート、人形劇、パネルシアター、制作、エプロンシアター、大型絵本等	-	-	A	絵本の貸し出し、教材の貸し出し等広げる。 又、手づくりおもちゃを紹介し伝える。	-	保育課